

ボグリボース錠0.2「OME」・ボグリボース錠0.3「OME」

を服用される方へ

食後の過血糖(食後の急激な血糖の上昇)を改善する
糖尿病の薬が処方されています。

以下の点にご注意ください。

この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせておいてください。



こちらのお薬は、患者様のお薬代の負担が軽減される
ジェネリック(後発)医薬品です。

1 この薬は食事の直前にお飲みください。

飲み忘れた場合は、次の食事の直前に1回分をお飲みください。

ごはんやパン等の食べ物と混ざりあって、糖分の吸収を緩やかにして
食後の過血糖を改善する薬ですので、**食事の直前**にお飲みください。

絶対に2回分を一度に飲んではいけません。

2 この薬を服用中、低血糖が起こることがあります。 低血糖の症状があらわれた場合は、必ずブドウ糖をお飲みください。

- ①この薬は砂糖の消化や吸収を遅らせますので、砂糖やアメ玉では
低血糖症状を改善できません。必ず**ブドウ糖**をお飲みください。
- ②低血糖を起こした場合には、必ず早めに主治医に報告してください。
- ③高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業に従事している時に低血
糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。

裏面もかならず
お読みください。



ボグリボース錠0.2「OME」・ボグリボース錠0.3「OME」

を服用される方へ

食後の過血糖(食後の急激な血糖の上昇)を改善する
糖尿病の薬が処方されています。

以下の点にご注意ください。

この注意は必ず家族やまわりの方にも知らせておいてください。



こちらのお薬は、患者様のお薬代の負担が軽減される
ジェネリック(後発)医薬品です。

1 この薬は食事の直前にお飲みください。

飲み忘れた場合は、次の食事の直前に1回分をお飲みください。

ごはんやパン等の食べ物と混ざりあって、糖分の吸収を緩やかにして
食後の過血糖を改善する薬ですので、**食事の直前**にお飲みください。

絶対に2回分を一度に飲んではいけません。

2 この薬を服用中、低血糖が起こることがあります。 低血糖の症状があらわれた場合は、必ずブドウ糖をお飲みください。

- ①この薬は砂糖の消化や吸収を遅らせますので、砂糖やアメ玉では
低血糖症状を改善できません。必ず**ブドウ糖**をお飲みください。
- ②低血糖を起こした場合には、必ず早めに主治医に報告してください。
- ③高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業に従事している時に低血
糖を起こすと事故につながります。特に注意してください。

裏面もかならず
お読みください。



3 低血糖とその症状

低血糖とは、血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に強い異常な空腹感、力のぬけた感じ、発汗、手足のふるえ、目のちらつき等が起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりとしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることがあります。人によって症状は異なりますが、空腹時に起こり、食べ物を食べると急に良くなるのが特徴です。症状が重い場合には、けいれんを起こしたり、意識を失うこともあります。



空腹感、力のぬけた感じ 発汗・動悸 頭が痛い 意識を失う 手足のふるえ

4 低血糖症状があらわれたら

低血糖症状があらわれた時は危険な状態ですから、このようなことがおこらないように注意し、軽いうちに治してしまわなければなりません。軽いうちは**ブドウ糖**をとると治ります。平素から10～15gの**ブドウ糖**を持ち歩き、すぐその場で**ブドウ糖**をとることが必要です。低血糖を起こした場合には、必ず早めに主治医に報告してください。

5 低血糖の予防には

薬の量や飲み方は、主治医の指導を正しく守ってください。勝手に量や飲み方をかえるような自己流のやり方は危険です。また、食事の時間を極端に変えることや、激しい運動、空腹時の運動は避け、食事療法・運動療法はきちんと守りましょう。

3 低血糖とその症状

低血糖とは、血液中の糖分が少なくなりすぎた状態で、急に強い異常な空腹感、力のぬけた感じ、発汗、手足のふるえ、目のちらつき等が起こったり、また頭が痛かったり、ぼんやりとしたり、ふらついたり、いつもと人柄の違ったような異常な行動をとることがあります。人によって症状は異なりますが、空腹時に起こり、食べ物を食べると急に良くなるのが特徴です。症状が重い場合には、けいれんを起こしたり、意識を失うこともあります。



空腹感、力のぬけた感じ 発汗・動悸 頭が痛い 意識を失う 手足のふるえ

4 低血糖症状があらわれたら

低血糖症状があらわれた時は危険な状態ですから、このようなことがおこらないように注意し、軽いうちに治してしまわなければなりません。軽いうちは**ブドウ糖**をとると治ります。平素から10～15gの**ブドウ糖**を持ち歩き、すぐその場で**ブドウ糖**をとることが必要です。低血糖を起こした場合には、必ず早めに主治医に報告してください。

5 低血糖の予防には

薬の量や飲み方は、主治医の指導を正しく守ってください。勝手に量や飲み方をかえるような自己流のやり方は危険です。また、食事の時間を極端に変えることや、激しい運動、空腹時の運動は避け、食事療法・運動療法はきちんと守りましょう。